

木材価格の動向等について

平成24年9月26日

林野庁木材産業課

木材価格下落への対応等について

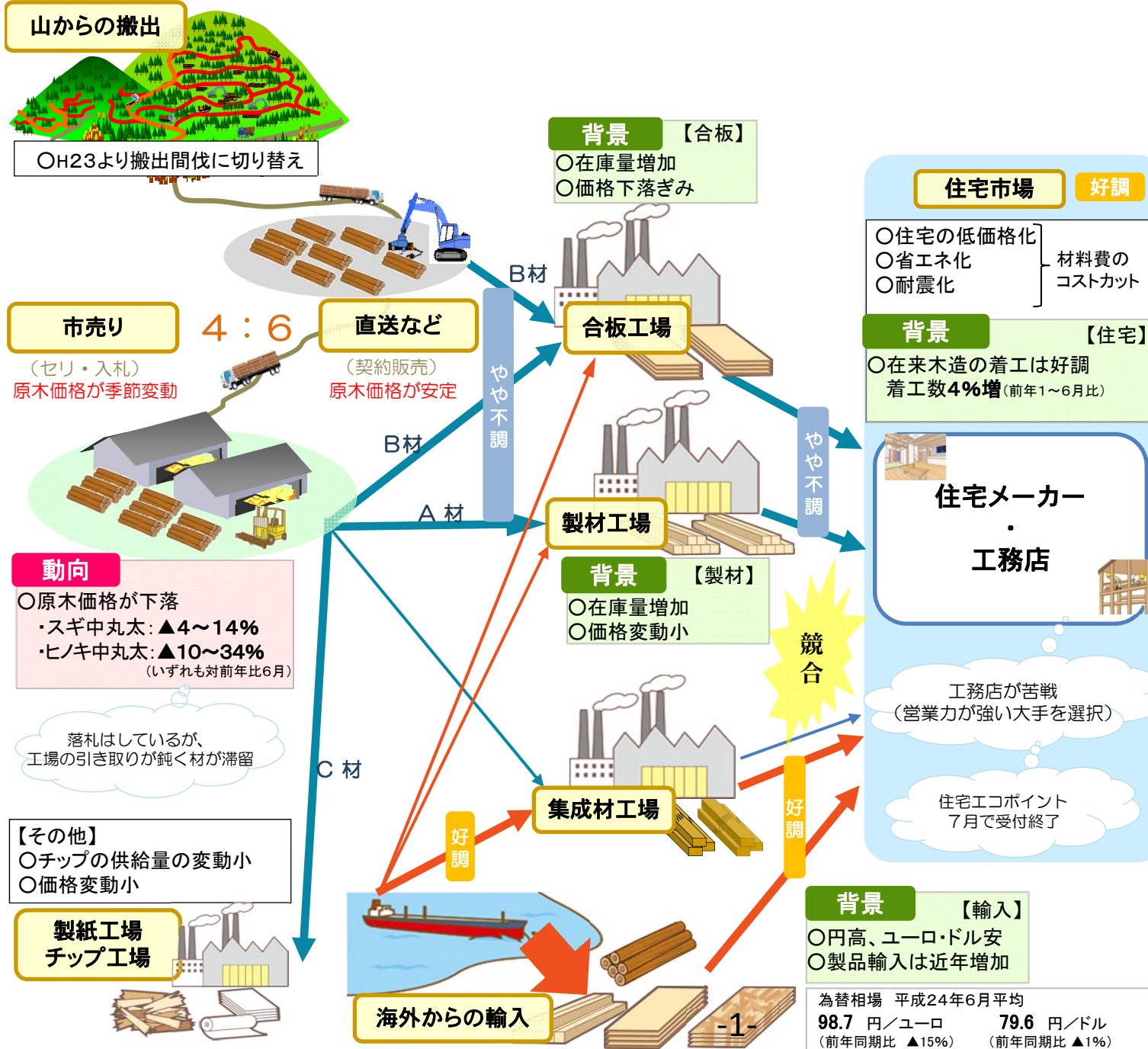
対策

【原木供給関連】

- 木材需給に係る情報交換の場の設定等の要請
- 林業者向け長期運転資金融資制度の周知等
- 森林管理・環境保全直接支払制度の運用の再周知
- 国有林における出材調整の実施等

【需要拡大関連】

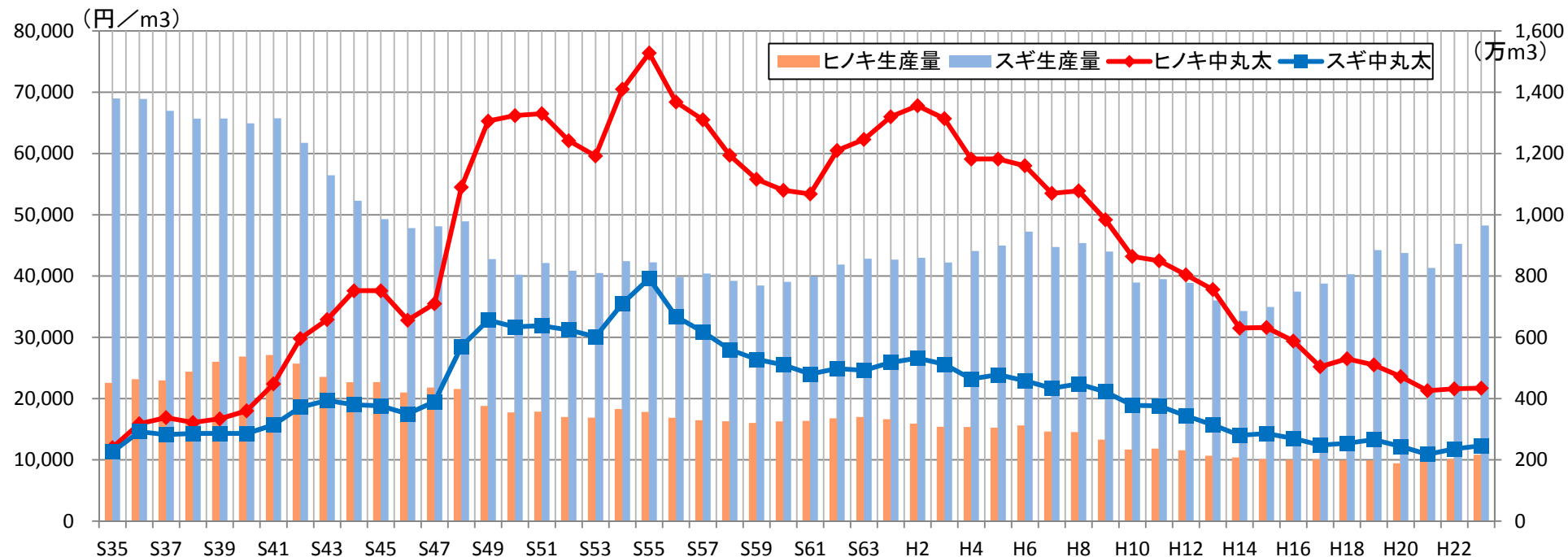
- 住宅メーカー・工務店への国産材利用の要請
- 公共建築物等木材利用促進法に基づく木材利用の一層の促進
- 木づかい運動の一層の推進
- 森林土木工事(民有林、国有林)における間伐材を活用した合板の利用要請等



国産材丸太価格と生産量の推移

○ 国産材丸太(スギ、ヒノキ)の価格は昭和55年をピークに下落傾向。

○ 生産量は近年増加傾向。



※スギ中丸太(径14～22cm、長さ3.65～4.0m)、ヒノキ中丸太(径14～22cm、長さ3.65～4.0m)のそれぞれ1m3あたりの価格。

資料：農林水産省「木材価格」、「木材統計」

【参考：過去10年間の丸太の価格と生産量の動向】

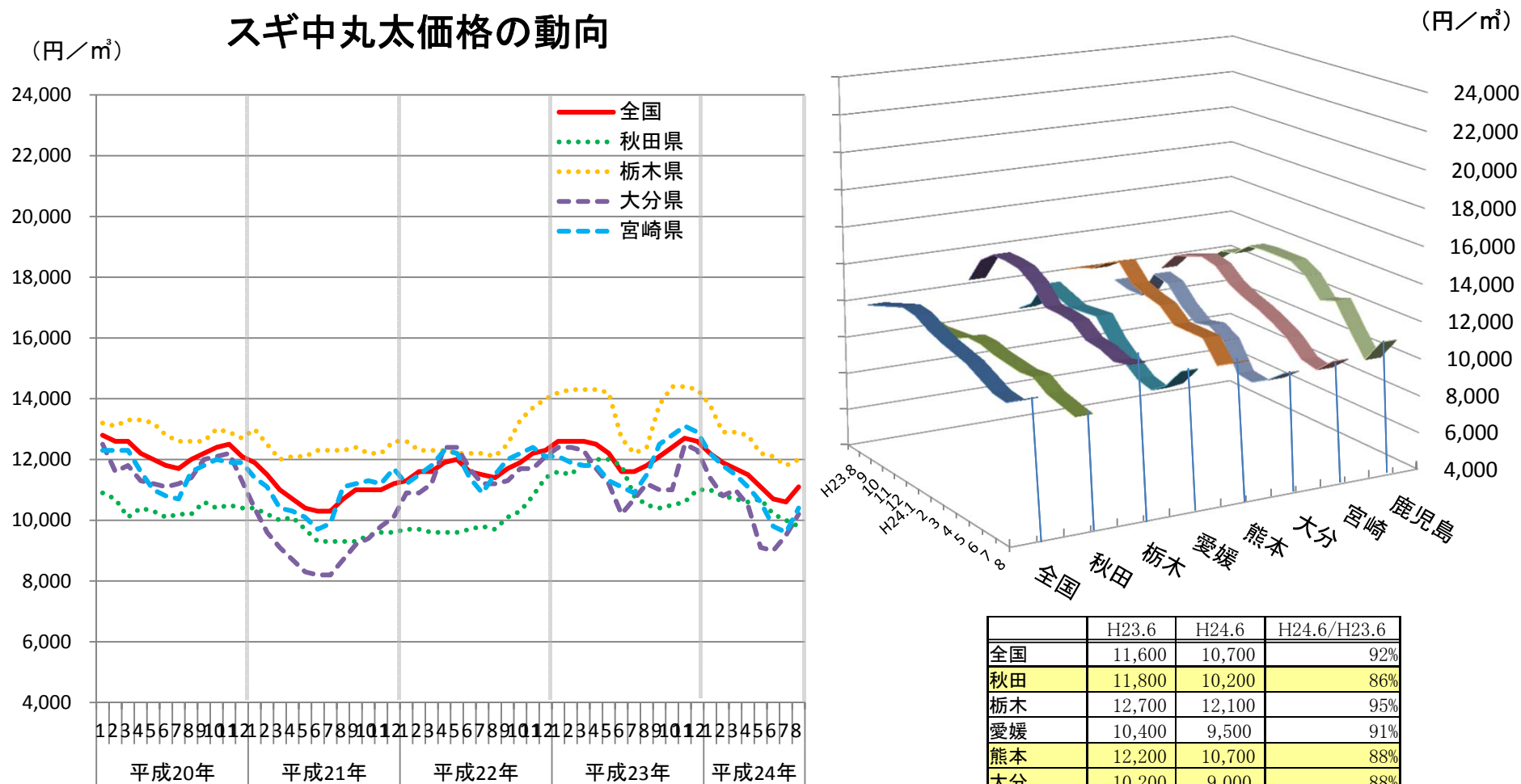
(単位：円／m3,万m3)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H23-H14	H23/H14
ヒノキ中丸太価格	31,500	31,600	29,400	25,200	26,500	25,500	23,600	21,300	21,600	21,700	△ 9,800	68.9%
ヒノキ生産量	208	203	200	201	199	199	189	196	203	217	9	104.3%
スギ中丸太価格	14,000	14,300	13,500	12,400	12,700	13,300	12,200	10,900	11,800	12,300	△ 1,700	87.9%
スギ生産量	686	699	749	776	806	885	876	826	905	965	279	140.7%

地域における丸太価格の動向①スギ中丸太

○ 本年6月のスギ中丸太の価格は対前年比 4～14%下落。

スギ中丸太価格の動向



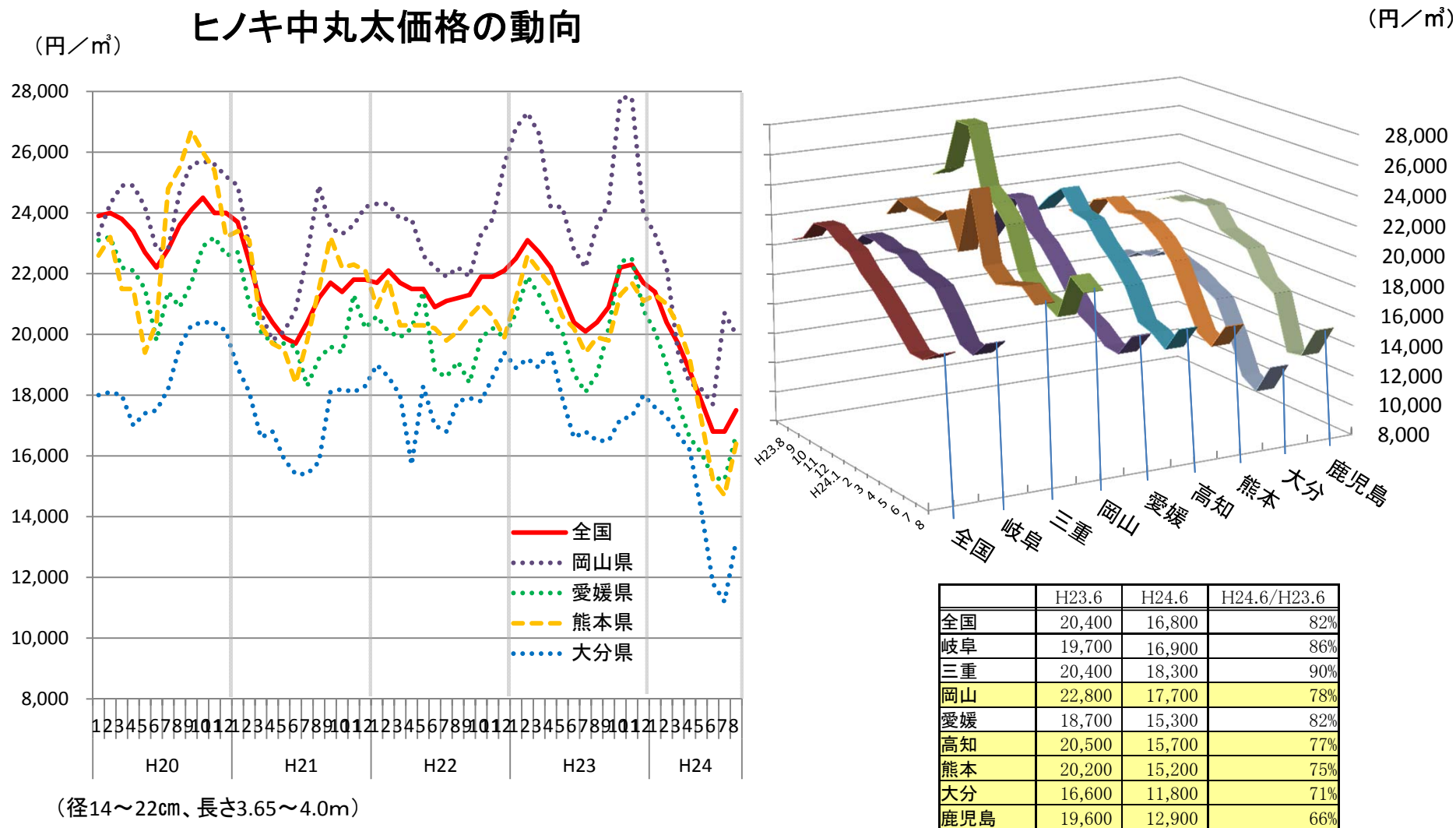
(径14～22cm、長さ3.65～4.0m)

資料：農林水産省「木材価格」

注：H23.3～H23.8の全国値は岩手県、宮城県、福島県のとりまとめが行えないためこれらを含まない価格である

地域における丸太価格の動向②ヒノキ中丸太

○ 本年6月のヒノキ中丸太の価格は対前年比 10～34%下落。



資料：農林水産省「木材価格」

注：H23.3～H23.8の全国値は岩手県、宮城県、福島県のとりまとめが行えないためこれらを含まない価格である

木材価格下落への対応について

○ 今回の木材価格の下落を受けて、原木供給に関して以下に取り組んでいるところ。

【原木供給関連】

- 木材需給に係る情報交換の場の設定等の要請
 - ・ 供給サイドと需要サイドの関係者による情報交換、協定取引の促進に向けた検討の実施等を依頼
- 林業者向け長期運転資金融資制度の周知等
 - ・ 経済環境の変化等により一時的に経営状況の悪化した林業者に対し、日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金制度を周知
 - ・ また、金融機関に対して林業事業体等への円滑な資金供給について配慮要請
- 厚生労働省の雇用対策制度の周知
 - ・ 経済環境の変化等により、雇用する労働者を一時的に休業等させた場合に手当の一部を負担する「雇用調整助成金」制度を周知
- 協定に基づく間伐材の直送方式の有効性の周知
 - ・ 価格の安定性、流通コストの低減を図る上で、間伐材等の並材の直送化が有効であることを周知し、推進を図る。併せて、森林整備加速化・林業再生基金のメニューに直送支援対策があることを周知
- 森林管理・環境保全直接支払制度の運用の再周知
 - ・ 間伐した材をすべて搬出しなければならないととらえられていることを懸念。補助対象区域の中に間伐木を搬出しない箇所を含むことが可能であることや除伐等の取扱い等について周知
- 国有林における出材調整の実施
 - ・ H24年4～6月の国有林の素材販売量を2割削減（昨年同期比）
 - ・ 引き続き地域の需給動向を踏まえて木材を供給

木材価格下落への対応について

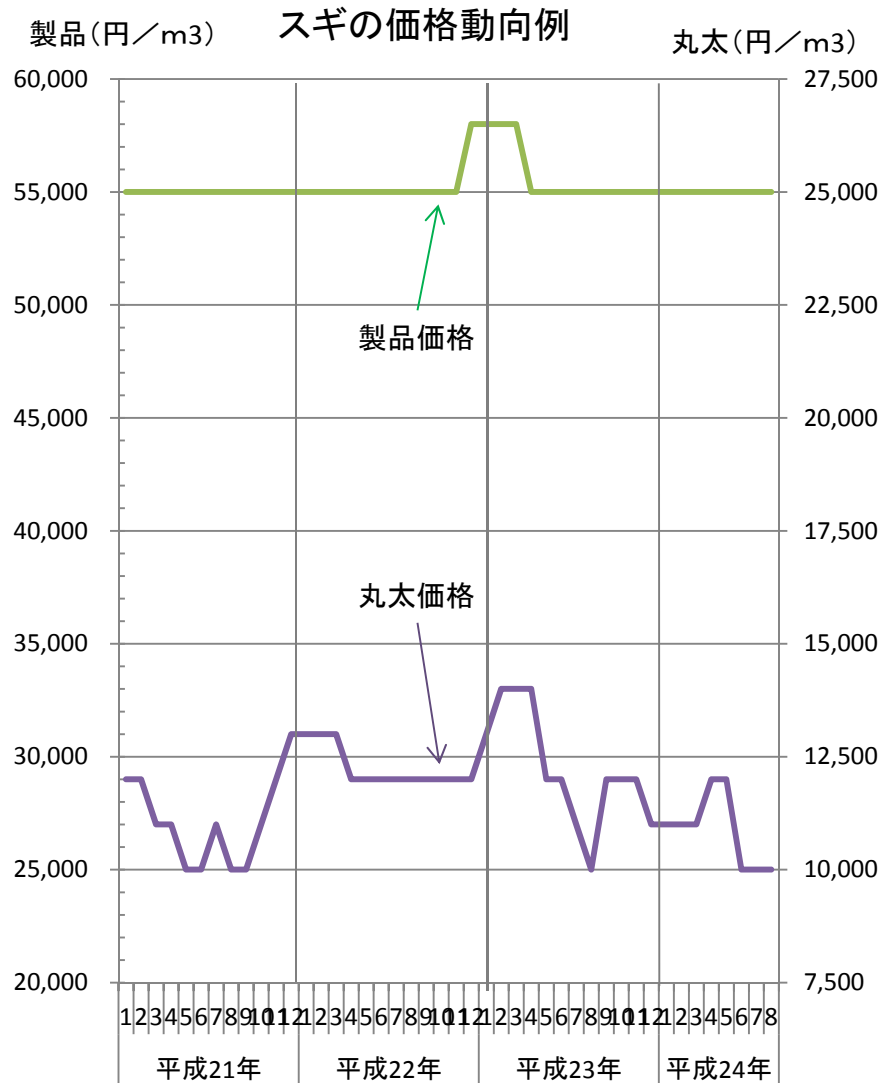
○ 今回の木材価格の下落を受けて、木材の需要拡大に関して以下に取り組んでいるところ。

【需要拡大関連】

- 住宅メーカー・工務店への国産材利用の要請
 - ・ 木造住宅メーカーの団体や大工・工務店の団体の会議において、国産材利用を要請
- 公共建築物等木材利用促進法に基づく木材利用の一層の促進
 - （市町村方針の策定促進）
 - ・ 全国市長会、全国町村会、関係団体等に働きかけ
 - ・ 波及効果の大きい東京23区に対し直接働きかけ
 - （公共施設等への利用促進）
 - ・ シンポジウム、講習会等を通じた普及活動
 - ・ 民間事業者が整備する公共施設等への木材利用の働きかけ
 - ・ 森林管理局幹部、森林管理署長等が、市町村長等に対して公共建築物等での国産材利用推進の働きかけ
- 木づかい運動の一層の推進
 - ・ 国産材利用の意義や木の良さ等について積極的な普及啓発を推進
- 森林土木工事（民有林、国有林）における間伐材を活用した合板の利用促進
 - ・ 公共事業等の発注者サイドに対し、特記仕様書に、間伐材を活用した合板の仕様について記載することを依頼
- その他
 - ・ 固定価格買取制度の下での木質バイオマス発電の意義等について関係業界・団体等に周知
 - ・ 日韓林業担当局庁の長による定期対話時に、日本産ヒノキの良さを周知するとともに、輸出の取組等への支援を依頼

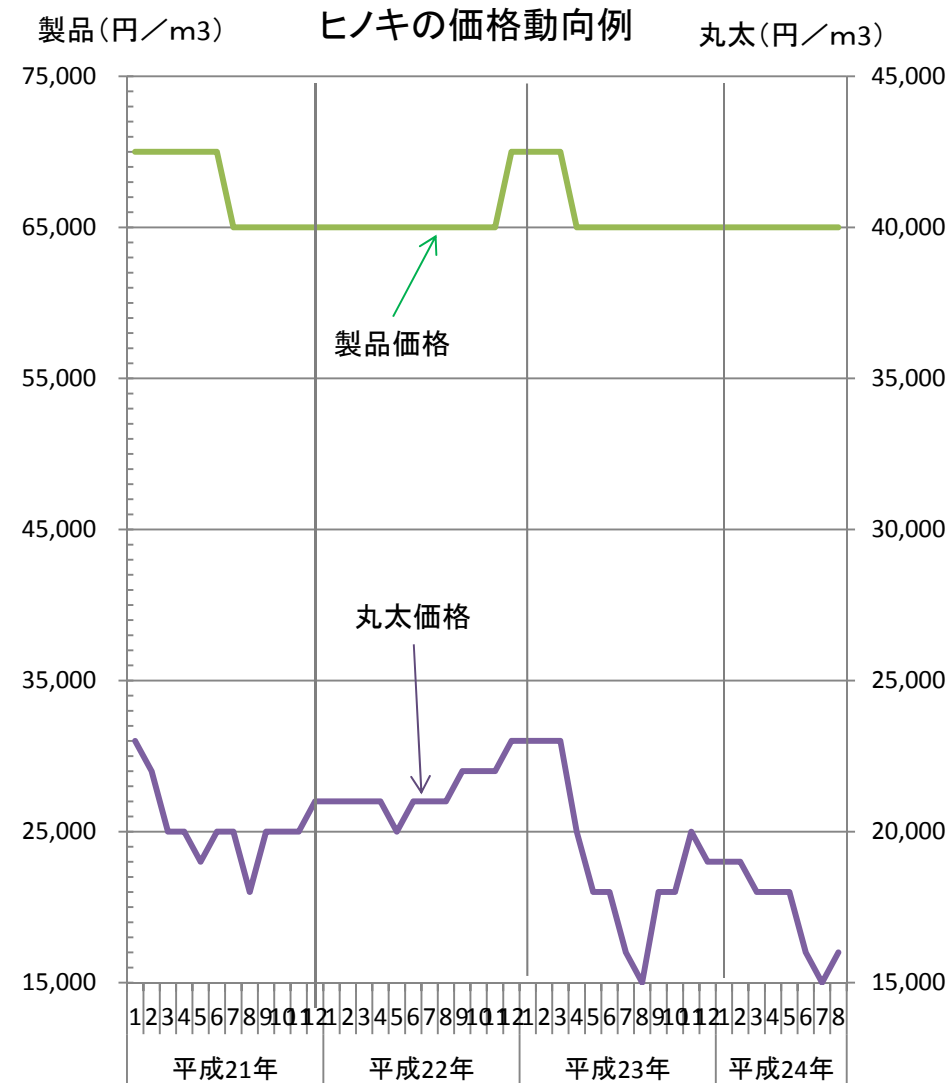
丸太価格・製品価格の変動

○ 丸太価格は製品価格に比べ変動割合が大きい。



資料:全日本木材市場連盟

注:丸太価格はスギ柱もの(径16~20cm×3.0m)の原木市場卸売価格
製品価格はスギ正角(乾燥)(特等 10.5×10.5cm×3.0m)の製品市場卸売価格



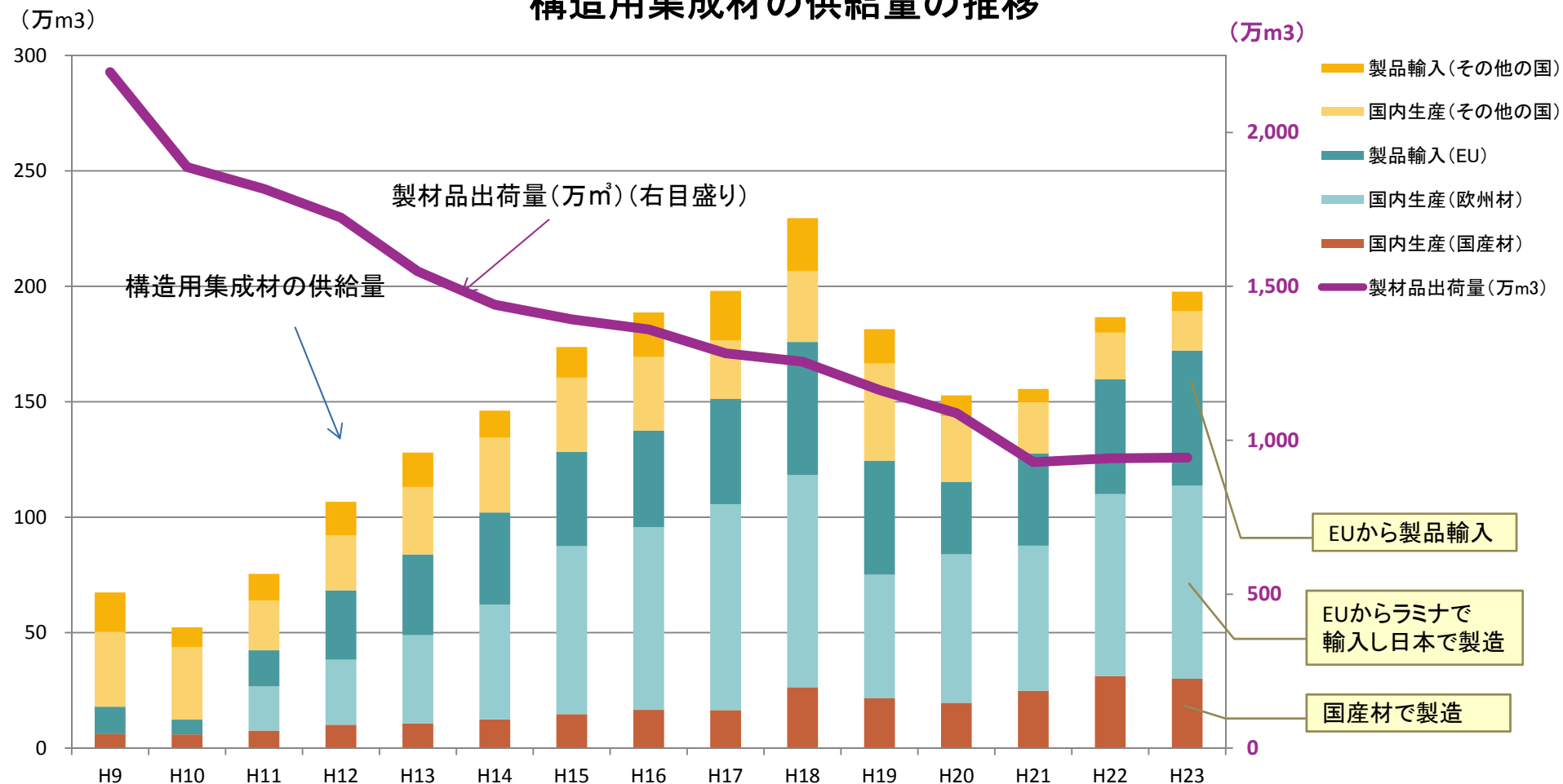
資料:全日本木材市場連盟

注:丸太価格はヒノキ柱もの(径16~20cm×3.0m)の原木市場卸売価格
製品価格はヒノキ正角(グリーン材 特等10.5×10.5cm×3.0m)の製品市場卸売価格

構造用集成材の供給量の推移

○ 構造用集成材の供給量は増加傾向。国産材由来も増えているが、それ以上に欧州材由来が増加。このような中で、国産製材品が相対的にシェアを奪われていることが推定される。

構造用集成材の供給量の推移



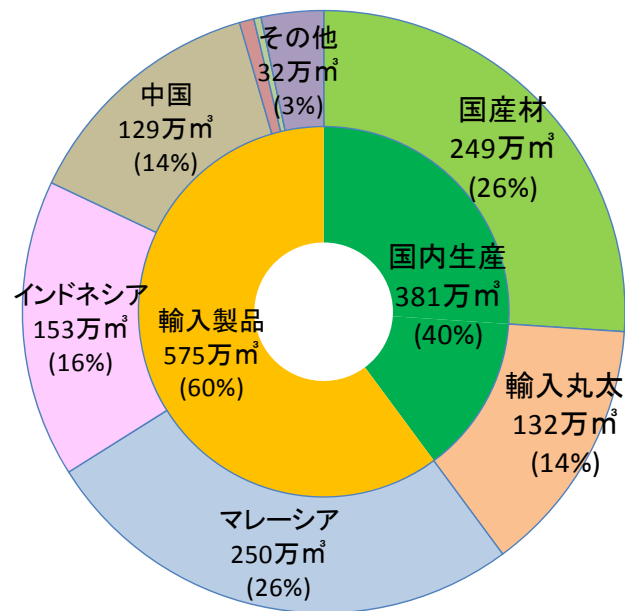
資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材統計」、日本集成材工業協同組合調べ

注1：国内生産量の内訳は、集成材原料の樹種別使用比率（日本集成材工業協同組合調べ）を構造用集成材国内生産量に乘じて算出した。

注2：国内生産（欧州材）は、平成10年までは国内生産（その他）に含まれる。

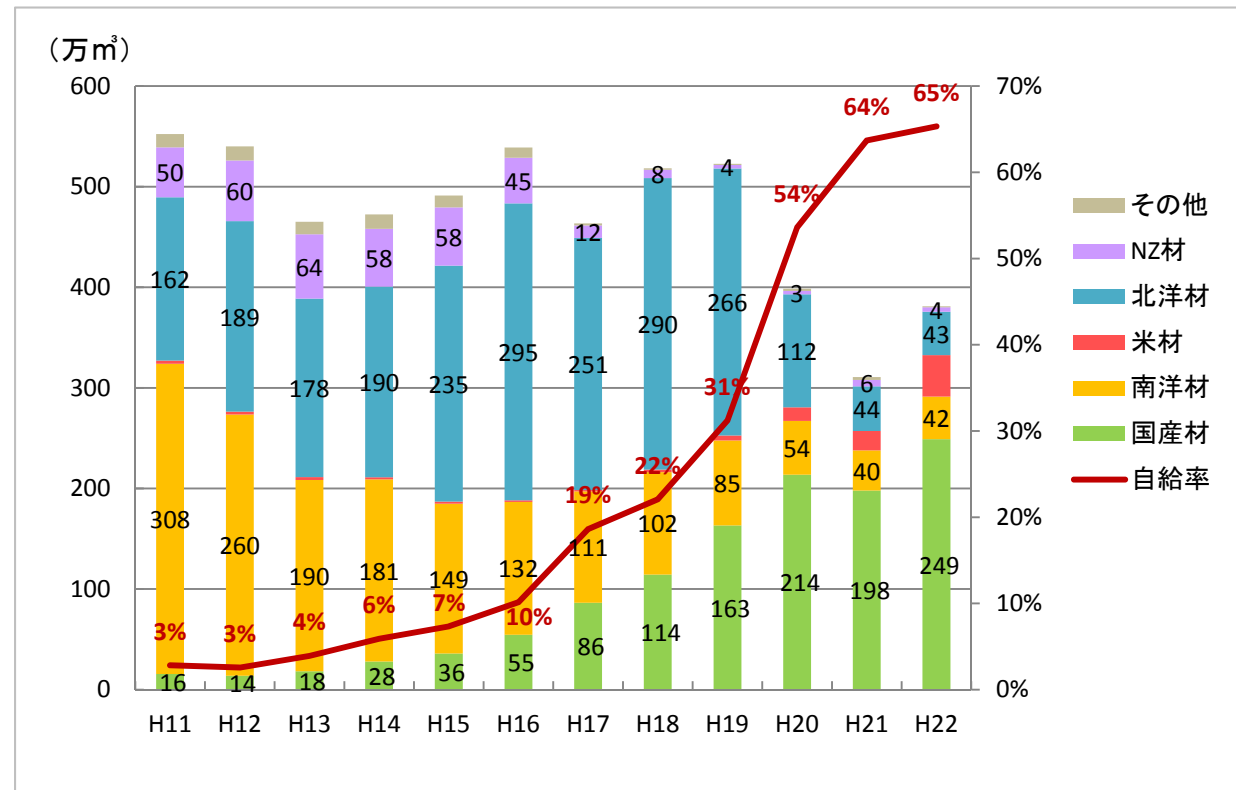
合板の供給量の状況と推移

我が国の合板の供給量の状況 (H22)



資料：農林水産省「木材需給報告書」、財務省「貿易統計」。数値は合板用材の供給量で丸太換算値。薄板、単板及びブロックボードに加工された木材を含む。

我が国の合板用素材供給量と国産材の割合



資料：林野庁「木材需給表」